

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	芦屋市立潮見小学校	研究グループ名	10
属・職・氏名	教諭 林 祥隆	民舞表現運動研究グループ	

研究テーマ分類番号 (4)

(1) 研究テーマ

踊り継がれる民族舞踊の研究

～地域との交流、指導力の向上と子どもたちの笑顔のために～

(2) 研究経過及び具体的な取組

1 日本各地で語り継がれる民族舞踊の研究

■7月29日

エイサー講習会参加 (2名)

■8月29日

山手小学校教諭へ向けて、エイサー講習会 (3名)

■11月28日

運動会実践交流会 (8名)

2 運動会や地域における実践と発信

■7月30日

大東保育所訪問 (5名)

よっちょれの指導・交流会

■8月1日午前～

緑保育所訪問 (5名)

よっちょれの指導・交流会

■8月1日午後～

打出保育所訪問 (4名)

よっちょれの指導・交流会

■8月21日

精道保育所訪問 (4名)

よっちょれの指導・交流会

■8月23日

芦屋市立宮川小学校 (7名)

宮川小学校体育館にて新曲エイサー (時を越え) を披露

■10月4日

市内保育所運動会視察 (精道保育所・打出保育所・緑保育所)

成果

本研究会の目的は『子どもたちに踊りの楽しさを知ってもらう。』である。この目標の達成のために、夏休みに市内の保育所へ訪問し、10月に行われる運動会へ向けての鳴子を使った『よ

『よっちょれ』の指導交流会を企画・実行できたことは大変大きな成果であったと考える。訪問した保育所からは、「是非また来てほしい。」や「他の保育所にも教えていいですか？」というようなお声もいただけた。子どもたちが本当に楽しそうに、一生懸命踊る姿を見て、我々大人たちも元気をもらい、達成感を得ることができた。来年度は、よっちょれだけではなく、花笠やエイサー、ソーラン節などと踊りのジャンルを広げ、今年度訪問できなかった保育所にも訪問できればと考えている。また8月23日には、これまでなかなかできなかった新曲の披露ができた。今回の曲は、作曲者が自分の祖父母から聞いた戦争の話を、後世に伝えていきたいという思いで作られた曲である。我々も、ただ踊る楽しさを伝えるだけでなく、平和や戦争について子どもたちと考えながら指導の実践を積み重ねていきたい。今後も活動を続け、日本に昔から伝わる伝統舞踊の楽しさや素晴らしさ。友だちと共に踊る喜び、達成感等を伝えていきたい。

課題

- 踊りのバリエーションを増やし、もっと多くの子どもたちの参加を促す。
- 保育所との交流会の充実。
- 研究会の定例化。

今後の予定

- 12月7日

地域保護者による潮芦屋地区のお祭りに参加。



大東保育所よっちょれ指導交流会



緑保育所よっちょれ指導交流会



山手小学校教諭へエイサー講習会



新曲『時を越え』披露